

令和6年度
小千谷市議会
議会報告会および意見交換会
実施報告書

広聴広報委員会

小千谷市議会基本条例（議会報告会と意見交換会）

1. 小千谷市議会基本条例

（議会報告会と意見交換会）

第18条 議会は、議会で行われた議案審議等の内容について、市民への報告等を行う議会報告会を設け、議会活動及び市政の課題について、情報提供及び情報共有に努めるものとする。

2 議会は、市民との意見交換会を設け、市民の意見を政策活動等に反映させるよう努めるものとする。

実施状況

1. 日 時：令和6年11月16日（土） 午後1時30分～午後3時00分
2. 場 所：小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。
3. 内 容： [議会報告]
 - ・令和5年度小千谷市一般会計歳入歳出決算認定について
 - ・定例会におけるガス事業に関する議案についての質疑
 - ・令和5年度 企業会計決算および特別会計決算について
 - ・民生産業委員会における継続調査について[意見交換会]
 - ・若者の居場所づくりについて
 - ・農林水産業全般について
4. 出席者： [議長] 上村 行雄 [副議長] 森本 恵理子
[総務文教委員会委員長] 平澤 智
[総務文教委員会副委員長] 内山 博志
[民生産業委員会委員長] 阿部 守男
[民生産業委員会副委員長] 駒井 和彦
[議員] 田中 淳、長谷川 有理、久保田 陽一、佐藤 隆一
住安 康一、高木 健太、佐藤 瑞穂、和田 忠篤
佐藤 勝義、廣井 良宣

意見交換会における参加者からの意見について

1. 「若者の居場所づくり」 総務文教委員会

○地域の活気について

ホントカ。への期待とともに、地域全体の賑わいを取り戻す取り組みを進めてほしい。本町のシャッター街を改善し、空き店舗を活用したチャレンジショップなど新たな試みを推進してほしい。

○若者の居場所について

若者が集まれる場所を増やし、安心して過ごせる居場所を整備してほしい。また、伝統芸能や地域活動に若者が参加できる仕掛けを作り、若者が気軽に集まれる環境を整え、地域との関係を増やす取り組みを進めてほしい。

○公共交通と地域施設について

市民が施設を利用しやすくするために公共交通の整備を進めてほしい。また、ちぢみの里の温泉が出ない現状について、今後の方針を議会で議論してほしい。

○移住や働く場所について

Uターンを促進するために働く場所の確保が必要。また、富岡町や双葉町のような移住者向け施策や地域情報アプリなど、外部の成功事例を参考にしてほしい。

○子育てや若者支援について

子育て費用への不安を軽減するため、習い事への補助を導入してほしい。また、若者が奨学金情報を得られる仕組みを整備し、学びやすい環境を作してほしい。さらに、コロナ禍で希薄になった人と人とのつながりを再構築する地域交流の取り組みを進めてほしい。

○地域資源と特産品について

錦鯉や角突き、縮といった特産品が市民にも身近になるよう改善してほしい。また、地域資源を活かし、特産品の価値を広く発信する取り組みを進めてほしい。

○健康で過ごせる環境について

近隣で運動できる場所が少ないと感じる。運動施設や健康増進のための場所をもっと整備してほしい。

○地域情報の発信について

小千谷に関する情報はインスタグラムの「おぢやおやじ」などで得ているが、地域情報の発信力をさらに高めてほしい。地域住民や移住希望者に役立つ双方向型の情報アプリを導入してほしい。

2. 「農林水産業全般について」 民生産業委員会

○開催への評価と期待について

意見交換会の開催を歓迎する声があり、今後は各地域でも開催してほしい。

○財政状況と施設利用について

小千谷市の財政状況について安心する一方、ホントカ。の施設運用や時水の焼却施設更新など、将来的な財政負担を軽減してほしい。

○農業の課題と展望について

小千谷市の基幹産業である農業に関しては、収入の低さや次世代への投資不足が大きな課題であり、なんとか解決してほしい。また、中山間地域における耕作放棄地の増加や農業の将来像についても懸念があり、これらの課題に対し、付加価値の高い産業展開や、農業体験やアルバイトを通じた若者の参入促進を進めてほしい。さらに、農家の事業継承を円滑に進めるための取り組みや、農業マッチングアプリの活用を進めてほしい。

○地域間連携と広域展開について

今後は広域連携の必要性があり、小千谷市がどの方向を目指すべきか示してほしい。また、IT 産業誘致や特産品 PR など、新しい産業振興策も進めてほしい。

○環境変化と未来への対応について

地球温暖化や環境変化への対応が必要で、特産品作りも環境の変化を考慮すべきではないか。

○錦鯉や特産品の保護について

錦鯉などの特産品が他国に奪われるなどの不安があり、小千谷市のブランド保護などを進めてほしい。

議会報告会および意見交換会 アンケート結果分析

1. 市民アンケートの結果

【議会報告会】

○所要時間について

多くの参加者が「ちょうど良い」と回答しており、時間配分に対する満足度は比較的高いと見られる。

○報告内容について

内容について、「わかりやすい」と回答した参加者もいる一方で、「どちらとも言えない」「わかりにくい」との声が一定数あった。特に、専門用語の多さや抽象的な説明に対する指摘が目立ち、市民生活に直結する内容への期待がある。

○意見・改善点について

「専門用語を避ける」「市民生活に関連する例を増やす」といった具体的な改善提案が寄せられた。また、報告会を継続してほしいという声もあり、参加者の関心が感じられる。

【意見交換会】

○テーマの関心について

「若者の居場所づくり」に関心が集中しており、このテーマが参加者にとって重要な話題であることが示されている。

○意見交換の雰囲気について

少人数グループでの意見交換は、「発言しやすい」と好意的に受け止められた一方で、「テーマや時間を分割して多くの意見を取り入れるべき」という意見もあった。また、意見交換が自由に行われる雰囲気作りも期待されている。

【今後の開催要望】

休日開催を希望する声が多く、午後や柔軟な時間帯が求められている。広報ではLINEやSNSを活用した周知強化が必要とされ、参加促進のためにはカジュアルな服装や子連れでも参加しやすい環境整備が重要。全体的な満足度は「少し満足」や「普通」が多く、一定の評価を得ている一方で改善の余地が指摘されている。

2. 議員アンケート結果

【議会報告会】

○所要時間について

「適切」との評価がほとんどで、時間配分には特段の問題は見られない。

○報告内容について

議員からも「専門用語を避け、一般市民に分かりやすく伝える必要がある」との声があった。また、グラフやイラストを活用した視覚的な資料の改善提案が複数見られた。

【意見交換会】

○テーマの適切性について

「適切だった」と評価する議員が多い一方で、「改善が必要」との意見もあり、テーマ選定に関する再考が必要。

○意見交換の質

「自由な雰囲気重要」との声があり、発言の公平性を確保するためのファシリテーターの導入が提案された。会場の環境（音声の聞き取りやすさなど）の改善を求める意見もあった。

【今後の開催要望】

議会報告会および意見交換会の開催形式については、一般公開型が支持され、市民全体を対象とした公開形式の継続が期待されている。開催頻度に関しては、1回で十分とする意見が多い一方で、2回の開催を求める声も一部見られ、柔軟な検討が必要である。全体的な満足度は「少し満足」や「普通」といった回答が多く、現行形式が一定の評価を得ているものの、さらなる改善の余地がある。

3. 今後の改善提案

○報告会の内容改善について

- ・専門用語を避け、市民生活に関連する具体例を増やす。
- ・グラフやイラストを用いた視覚的にわかりやすい資料作成を行う。

○意見交換会の運営向上について

- ・ファシリテーターを配置し、発言の公平性を確保する。
- ・グループ分けやテーマごとの会場分割により議論の活性化を図る。

○広報活動の強化について

- ・ポスター、SNS、LINEなどを活用して開催情報を広く周知する。
- ・市民の興味を引く具体的なテーマ設定を行う。

○市民参加の促進について

- ・カジュアルな服装の推奨や参加のハードルを下げる施策を導入。
- ・子連れでも参加しやすい環境整備。

今後の議会報告会および意見交換会の方向性について

令和6年度の実施結果を基に、議会報告会および意見交換会の開催について、以下の方向性を提案する。

1. 開催時期、開催回数、時間帯などについて

休日開催かつ午後を基本に、同時期での開催で計画する。

2. 議会報告会の内容改善について

報告内容を市民に分かりやすく伝えるため、専門用語を避け、市民生活に関連する具体例を充実させた報告を行う。また、グラフやイラストを取り入れた資料作成を行い、情報の伝達効果を高める。

3. 意見交換会の運営向上について

公平で自由な議論の場作りのために、ファシリテーター役を新たに配置し、発言の公平性を確保する。グループ分けやテーマごとの深掘りを行い、幅広い意見が収集できるテーマの設定や意見収集の仕組みを整備する。

4. 市民参加と広報活動について

カジュアルな服装を推奨し、子連れでも参加しやすい環境を整えることで、多様な市民の参加を促す。また、広報誌、SNS、LINEなど、あらゆる手段を活用して開催情報を周知する。